

令和7年度第1回香取市総合教育会議会議録

1 期 日 令和7年7月24日（木） 開会 午後3時
閉会 午後3時34分

2 場 所 市役所4階庁議室

3 出席者 市長 伊藤友則
教育長 堀越洋
教育長職務代理者 伊藤博和
教育委員 芦田優子
教育委員 鳥次由紀子
教育委員 増田進一

4 傍聴者 あり

5 出席職員 教育次長 本宮茂幸
教育総務課長 石橋敏幸
学校教育課長 高橋進
生涯学習課長 福代宏
生涯学習課副参事 菅生和代
香取市学校給食センター所長 林千鶴
学校教育課指導班長 園山力
生涯学習課スポーツ振興班長 吉村浩平
教育総務課教育総務班長 大八木奈津子
総括コーディネーター 多田洋一
地域コーディネーター 日下部正一
地域コーディネーター 齋藤信人

6 開 会 定刻となりましたので、ただいまから、令和7年度第1回香取市総合教育会議を開会いたします。

私は、本日の会議の司会進行を務めさせていただきます、教育総務課の石橋と申します。よろしくお願いいたします。なお、本会議は、香取市総合教育会議運営要綱第4条第1項の規定により、原則公開するものとなっており、非公開とすべき案件がないことから傍聴希望者の入室を許可しております。

また、本会議は会議録を作成し、市ホームページにて公表いたしますので、ご了承願います。

それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。
最初に、会議の主催者である伊藤市長よりご挨拶をいただきます。

7 市長挨拶

皆さんこんにちは。本日は令和7年度における第1回香取市総合教育会議を開催させていただきます。

総合教育会議の目的としては、市長と教育委員会が円滑に意思疎通を図り、市の教育行政の課題及び目指す姿を共有し、より一層の教育行政を推進することとなっております。

また、本日の会議に際しての議題としては、お手元にありますように「部活動地域移行（地域展開）の進捗について」です。

現在の香取市の部活動の地域クラブ移行状況は、3クラブへの移行となっているところです。少子化の進展等によって、学校部活動を従前と同様の体制で運営することが、困難となりつつある中で、今後も継続的に生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動を実現していくためには、学校と地域が連携して取り組んでいく必要があると考えます。

今回の会議でも、全国的に課題となっております、部活動の地域移行（地域展開）についての意見交換を、委員の皆様とともに進めていきたいと思いをします。

どうぞよろしくお願いいたします。

教育総務課長

早速、議事に入らせていただきます。

議事の進行につきましては、香取市総合教育会議運営要綱第3条の規定により、市長にお願いいたします。

8 議 題

議長(市長)

それでは、議事に入らせていただきます。

議題「部活動地域移行（地域展開）の進捗について」、まず事務局から説明を求めます。

学校教育課長

学校教育課の高橋でございます。私から「部活動地域移行(地域展開)について」ご説明いたします。

はじめに「地域移行」という用語ですが、こちらは現在「地域展開」という用語に変更がアナウンスされております。「地域展開」の言葉には、そのコンセプトとして、学校内で運営されてきた活動を広く地域に開き、地域全体で支えていく、新たな価値を創出し、より豊かで幅広い活動を可能とするといった意味が込められています。県のほうでは、令和7年度からこちらを使用するとのことですが、国のほうでは、いつからとはっきりとした明示はなく、ウェブページ等では部分的に両方の用語が使用されております。

こうしたことを受け、本総合教育会議ではタイトル等で双方を明記しましたが、地域クラブの生徒へのインタビューなどは、使い慣れた

「地域移行」を使用していることもあり、会議内の説明等では、これまでの「地域移行」を使用していくこととします。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、レジュメ 1 ページをご覧ください。はじめに、令和 5 年度の総合教育会議でお伝えしました「地域移行」の趣旨について再掲しました。簡単に振り返りをしたいと思います。

部活動はこれまで、教育の一環として、我が国のスポーツ、文化芸術の振興に大きく寄与してきました。同時に、部活動は、単にスポーツや芸術等の技能を身につけるだけではなく、自主性、協調性、責任感、連帯感などを育成したり、自己の力の確認、努力による達成感、充実感を実感したり、互いに競い励まし、協力する中で友情を深めるとともに、学級や学年を離れて仲間や指導者と触れ合うことにより、多様な人間関係の形成にも寄与してきました。

しかしながら、少子化の進展や変化の激しい今日の社会情勢の中での様々な課題等により、これまでの形での部活動の継続が難しくなっています。本市も、別添資料の「香取市内生徒の部活動所属状況」にございますように、学校規模により活動部活数に格差があり、今後の継続といった点は大きな課題となっています。

こうした中で、継続的に生徒のスポーツ・文化芸術活動を推進していくためには、学校と地域との連携、協働が欠かせず、具体的方策として学校部活動の地域連携並びに地域の運営団体等による地域クラブ活動への移行が提言されるに至りました。

その後、先ほど申しあげました、地域移行から地域展開へと文言が変更されるにあたり、新しいのコンセプトとして「新たな価値の創造」が明言されるようになりました。それらは、レジュメ 1 ページ下段に掲載してございますが、生徒のニーズに対応した多種多様な体験、生徒の個性・得意分野等の尊重、学校の垣根を超えた仲間とのつながり創出、地域の様々な人や幅広い世代との豊かな交流、適切な指導者による良質な指導、学校段階にとらわれない継続的な活動(引退のない継続的な活動)、地域クラブの指導者による一貫的な指導といったことが期待されております。

次に、これまでの活動の具体的な経緯及び今後についての概要です。レジュメ 2 ページ上段をご覧ください。

こちらが、現在示されている最新のスケジュールとなります。当初示されたスケジュールでは、上記令和 5 年から令和 7 年までの「改革推進期間」の間に休日の部活動地域移行の完了、または計画の策定が

示されていましたが、その後、各市町村の実情に合わせ、新たに示された改革実行期間内に移行するよう変更がなされました。今後は、令和7年度中に休日完全移行の計画を立てながら、改革実行期間中にそれらを進めていく見通しとなっています。

次に香取市の取組についてです。

初めに、地域移行に係る組織体制についてですが、こちらは、活動当初から2つの組織が主体となっております。香取市地域部活動検討委員会は、市内の地域移行全般を担う会であり、2つ目の香取地区部活動地域移行連絡協議会は、香取地区、神崎町、東庄町、多古町の1市3町全体での調整連絡を行う機関であり、様々な課題について広域での連携を話し合っております。

続いて、活動の概要について地域移行コーディネーターの活動を中心に申し上げます。レジュメ3ページをご覧ください。

地域移行に向けた香取市内の活動は、令和5年度から本格的に始まりました。令和5年度は、コーディネーターは配置しておらず、指導主事が業務を担当しておりました。地域部活動検討委員会を行いながら、今後の全体の見通しを持つとともに、アンケートの実施や各学校との意見交換を中心に活動しました。秋には、目標であった市内1部活の地域移行として、市内6校の陸上部が移行となりました。

令和6年度になり、地域移行コーディネーターが3名配置となりました。千葉県地域クラブ活動体制整備事業にも参加し、委託契約として活動予算も受けることができるようになりました。コーディネーターを中心に各学校や地域クラブと継続的に協議を行い、ガイドラインの作成や地域クラブの拡大に向けた協議などを継続して行いました。地域移行も陸上部に加え、1校のソフトテニス部、1校の剣道部の移行が実現しました。

香取地区で作成しましたガイドラインにつきましては、その骨子をレジュメ4ページに掲載してございます。内容につきましては、県のガイドラインをベースにしておりますが、より具体的に行うことや、安全面での配慮事項を追記している点が特徴となっております。

令和7年度も、引き続き地域移行コーディネーターが3名配置となるとともに、千葉県地域クラブ活動体制整備事業にも参加しています。今年度は、特に地域クラブの本格的な募集を開始しております。この点については、この後詳細を申し上げます。

続きまして地域クラブの状況についてです。

こちらにつきましては、レジュメ 3 ページ中段にその概要を掲載してございます。さらに、今回は、陸上とソフトテニスにつきまして、活動の様子を取材してまいりましたので、ご覧いただけますようお願いいたします。

<動画上映後>

いかがでしたでしょうか。当日急に伺ったので、生徒たちは大分緊張していた様子でしたが、それでも、地域移行で自分の学校以外の友達と練習できる楽しさや、専門的な指導を受けられる喜びの声を聴いていただけたと思います。

今後もこうした生徒の思いを大切にしながら、活動の充実を図ってまいります。

続きまして、地域クラブについてでございます。こちらにつきましては、生涯学習課からご説明いたします。

生涯学習課
副参事

続いて、5 ページの今後の取組みになります。合わせて、資料の地域クラブについてもご覧ください。

まず、地域クラブ団体の募集についてですが、やはり、地域移行を進めていくうえでの一番の課題は指導者の不足です。これまでも、学校と既存の団体とのヒアリングを行いながら調整してきましたが、今年度は広く広報やホームページを通して地域クラブ団体の募集を開始いたしました。チラシが資料の 2 枚目になります。

募集する団体は既に活動しているものでも、これを機に新たに地域クラブを立ち上げるものでも、「地域全体で子どもを育てる学校部活動及び地域クラブ活動に関するガイドライン」に基づいて、スポーツ・文化活動の指導及び運営ができることとしています。種目も陸上、野球、バスケットボール、バレーボール、サッカーなど学校部活動で行っているものだけでなく、学校部活動にない種目も対象にしています。

休日の部活動をしていた時間を自分で選択して好きなことに充てることができる、これも地域移行のひとつだと思います。ひとつでも団体が増えて、選択肢を増やすことが子どもたちの活動を豊かにすることに繋がると考えています。

すでに、いくつかの団体から申請や問合せをいただいておりますが、地域みなさんも部活動の地域移行にだいぶ関心をもっていただいているように感じています。

申請書が提出されたあとは、面接等により活動内容を確認させてい

ただき、「かとり地域クラブ」として認定していきます。

また、同時に指導できる方、指導したことがある方、指導してみたい方など中学生の地域クラブ活動に協力できる方に人材バンクへ登録していただく取組みも行います。

登録していただくことにより、まずはどのような種目の指導者が存在するかを把握し、活動の支援、指導ができる人の確保に繋がりたいと思います。指導者と活動中の地域クラブのマッチングや新たな地域クラブ設立の支援など、幅広く活用できたらと考えています。

次に、教職員向けアンケートの実施ですが、教職員向けのアンケートは令和5年度にも行い、休日の部活動を地域移行することに賛成か反対か、またその理由、移行する場合は兼職兼業の申請を行い、指導することを希望するかなどを回答してもらいました。

そして、今年度は地域移行が本格的に動き出した今の状況を教職員はどう感じているのか、指導者として関わることを望んでいるかなどアンケートによって把握したいと思っています。地域移行した後も子どもたちの指導を続けたいと思っている教職員はいると思いますので、引き続き指導者として協力していただきたいと考えています。

最後に、指導者研修会の開催ですが、地域クラブの認定を受けた団体には、生徒に適切な指導を行うために、技術だけではなく指導者として必要な資質向上、不祥事根絶の研修会に参加していただくこととしております。

以上、部活動の地域移行について、ご説明いたしました。

指導者不足など大きな課題はございますが、子どもたちの豊かなスポーツ・文化芸術活動を継続させていくためには、部活動の地域移行は必要なものと考えております。そのために、受け皿となる地域クラブを募集し進めているところですが、皆様方からもご意見をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

議長

事務局からの説明が終わりました。ただいまの説明につきまして、委員の皆さまからご意見等をいただきたいと思います。

レジュメにもありますように「これまでの活動の経緯」と「今後の取組み」と大別されておりますが、こちらについて一括でも別々でも結構ですので、意見等を伺いたく存じます。

教育長

香取市の取組についてですが、7月22日に県を表敬訪問をした際に、体育課の担当者から広域につきまして、良く取り組んでもらって

いるという言葉いただきました。また、旭市が香取市の取組状況をヒアリングしたということなので、状況としては、この地区ではかなり進んでいる方ではないかと感じております。ただ、指導者の募集ですとか、まだまだ課題が残っております。

委員 地域クラブ・指導員の募集というのは、いつ頃から何を媒体にして、このチラシを出しているのでしょうか。

生涯学習課副参事 団体の募集につきましては、5月にすでにホームページ、広報等で周知は始めております。人材バンクの方は、7月の広報に載せております。

委員 広報に載せる以外に何か募集をかけてはいないのですか。広報だけですか。

生涯学習課副参事 ホームページへの掲載も行っております。また、各種団体の方に説明に伺った際にも、そちらのチラシを配らせていただいております。

委員 中学生の生徒たちや保護者に向けた文書は配っていないということでしょうか。

生涯学習課副参事 募集記事は配っておりません。

教育長 県全体としては「ちばクラサポ」といって県教育委員会で千葉県全体として募集をかけて、その中に、地域に住んでいて、この種目は指導可能というようなデータベースがあるので、そこからも指導者を見つけることができるのではないかと思います。

委員 今、移行を行っている3つの団体以外でも検討しているところがあるということでしたが、具体的にどのような団体を検討しているのでしょうか。

生涯学習課副参事 実際に申請が上がってきた団体については、バドミントン、ソフトテニス、バスケットボールの団体からは申請をいただいております。まだ申請まで至っておりませんが、問い合わせいただいている競技につきましては他に、柔道、剣道、野球、サッカーの団体もございます。

委員 幾つか質問させていただきたいです。まずこの令和7年度の地域クラブとして3つのクラブが挙げられているのですが、香取市の特色と

しての水上スポーツである、小見川海洋クラブというのは、この地域クラブとは全く別物という考え方でよろしいでしょうか。

生涯学習課
副参事

はい。この地域クラブの認定にあたっては、ガイドラインに沿った活動っていうところもありますので、その中で、休日は土日どちらか1日3時間、平日だと週4日で各日2時間という活動時間も明記がありますので、これまで活動してきている小見川海洋クラブは、その部分で該当しないことになります。

委員

全く別に考えた方が良いでしょうね。

2つ目ですが、先程ビデオを見せていただいたところ、陸上の方もテニスの方も、とても楽しそうにしており、いつもの学校での部活と違う指導者に付いていろいろなことを学べるということもあります。

例えばテニスでしたら、地域クラブでチームかとりに所属して、学校でテニス部に所属する、そうすると指導者が違いますが、それもありということですね。

学校教育課長

はい。

委員

重複加入は可能ということですか。

学校教育課長

現状ですと平日は学校で、休日はクラブという形です。

委員

陸上も普段は佐原中で活動してるけれども、休日に地域クラブで活動しているとなると、大会にはその学校名で出るのか、チーム名で出るのかということがあるかと思いますが、その点はどのようなのでしょうか。

学校教育課長

現在の種目によって違いがありまして、テニスはクラブでの出場が認められています。現在、整えられつつあるところですので、まだ全部がそのままということではないです。

委員

学校で出るか、クラブで出るかっていうのは、それぞれの生徒の判断ということよろしいですか。

学校教育課長

はい。

委員

学校から郡大会に出て、県大会に繋がっていく、また、クラブチームからも郡、県それから最終的に全国へ、そういう流れというのは両方とも確保されてるってことですか。

学校教育課長 そこに向けて、今、整えられているところです。

委員 今後、地域クラブが増えていくにあたって、香取市内から集まっていくと思うのですが、保護者の送迎が必要かと思うのですが、そういったことが難しいということもあるかと思います。送迎の代わりになるようなものなども考えていらっしゃるのでしょうか。

学校教育課長 これは課題の1つとして、随分前から上がってきているので、どういった形が良いかというのは、様々な検討しているのですが、まだ具体的には動けていないところです。

委員 これから地域クラブをどんどん募集されると思うのですが、最近はいろいろな問題がありますので、安全性というか、指導者の方や団体の精査などは、どのように気を付けていらっしゃるのでしょうか。

学校教育課長 先程の説明の中で、研修会の実施とあったと思います。この研修会の充実を最優先と考えております。今後、地域移行が広まっていく中で、活動についてもクラブに全部丸投げということではなく、我々も関わっていけるような活動というものを考えております。

委員 先程の動画で、ソフトテニスの指導者として出ていたのは中学校の先生でしたので、中学校の先生が平日は中学校の部活動の顧問として教えて、土日はクラブチームでも教えたいから指導をするということもあるのですか。

学校教育課長 はい。兼職兼業手続きを経ております。

議長 他にご意見等ございませんか。ないようですので、ここで締めさせていただきます。委員の皆様には、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

部活動地域移行（地域展開）について、地域移行の受け皿といえる地域クラブ団体の募集に力を入れつつ、教職員の状況把握のためのアンケートも実施していきたいと思います。

それでは、事務局へ進行をお返しします。

9 その他
教育総務課長 次に、その他ですが、委員の皆様から何かありましたら、お願いいたします。

10 閉 会
教育総務課長 ないようでしたら、以上で総合教育会議を閉会といたします。
ありがとうございました。